

## 日光白根山の火山活動解説資料（平成 30 年 4 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 1）

歌ヶ浜監視カメラ（日光白根山の南東約 13 km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

#### ・地震活動（図 2 - 、図 3）

日光白根山付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。  
火山性微動は観測されていません。

#### ・地殻変動の状況（図 2 - ~ 、図 4）

GNSS<sup>1)</sup>連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 日光白根山 山頂部の状況（4月20日 歌ヶ浜監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（平成 30 年 5 月分）は平成 30 年 6 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

計数基準変更履歴

開始	2010年12月10日～	五色沢振幅: 1.0 μm/s 以上、S-P: 1.5 秒以内
変更	2011年3月11日～	五色沢振幅: 10.0 μm/s 以上、S-P: 1.5 秒以内
変更	2013年7月1日～	五色沢振幅: 2.0 μm/s 以上、S-P: 1.0 秒以内

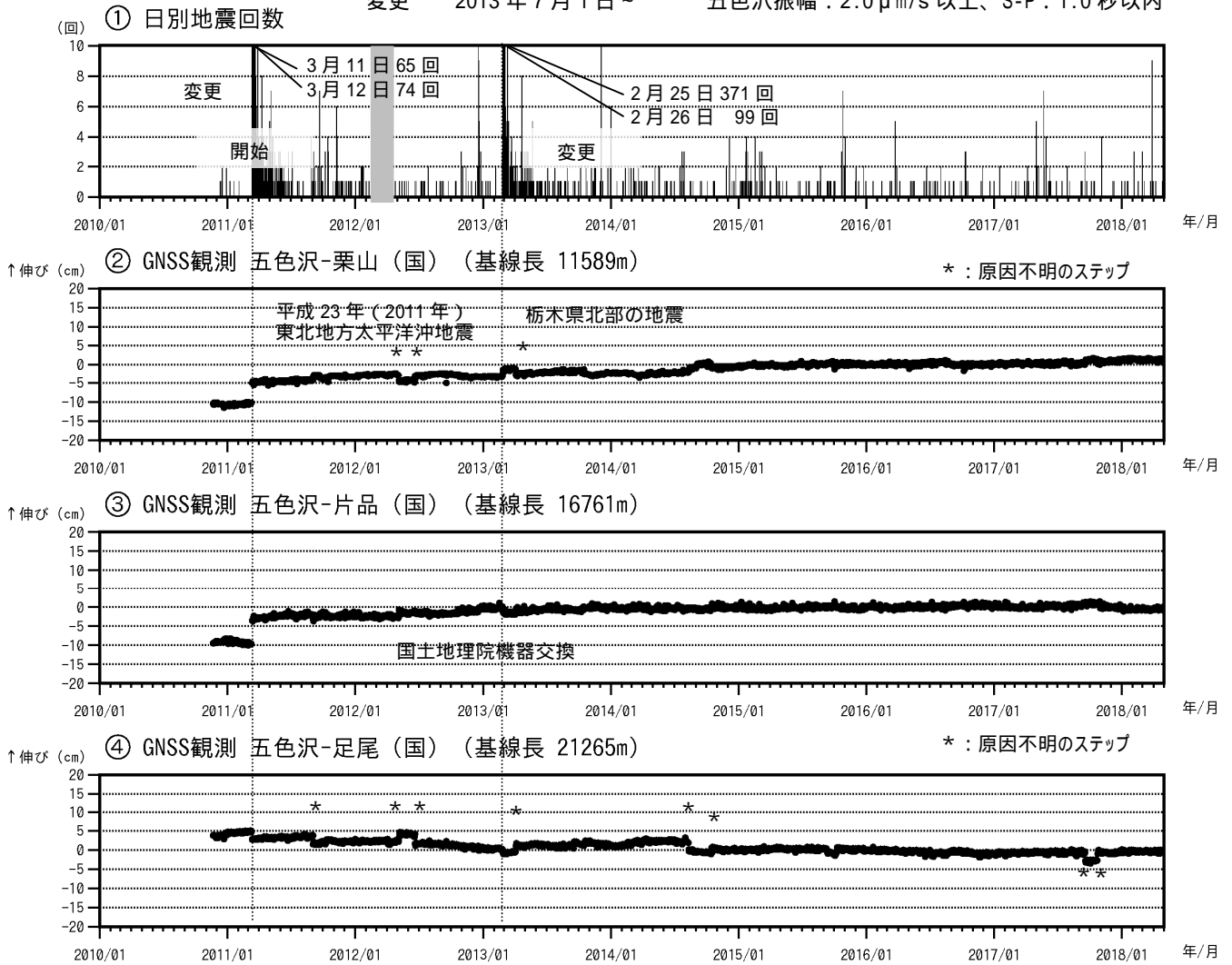


図2 日光白根山 火山活動経過図(2010年11月20日～2018年4月30日)

日光白根山周辺の日別地震回数(2010年12月10日観測開始)

グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示しています。

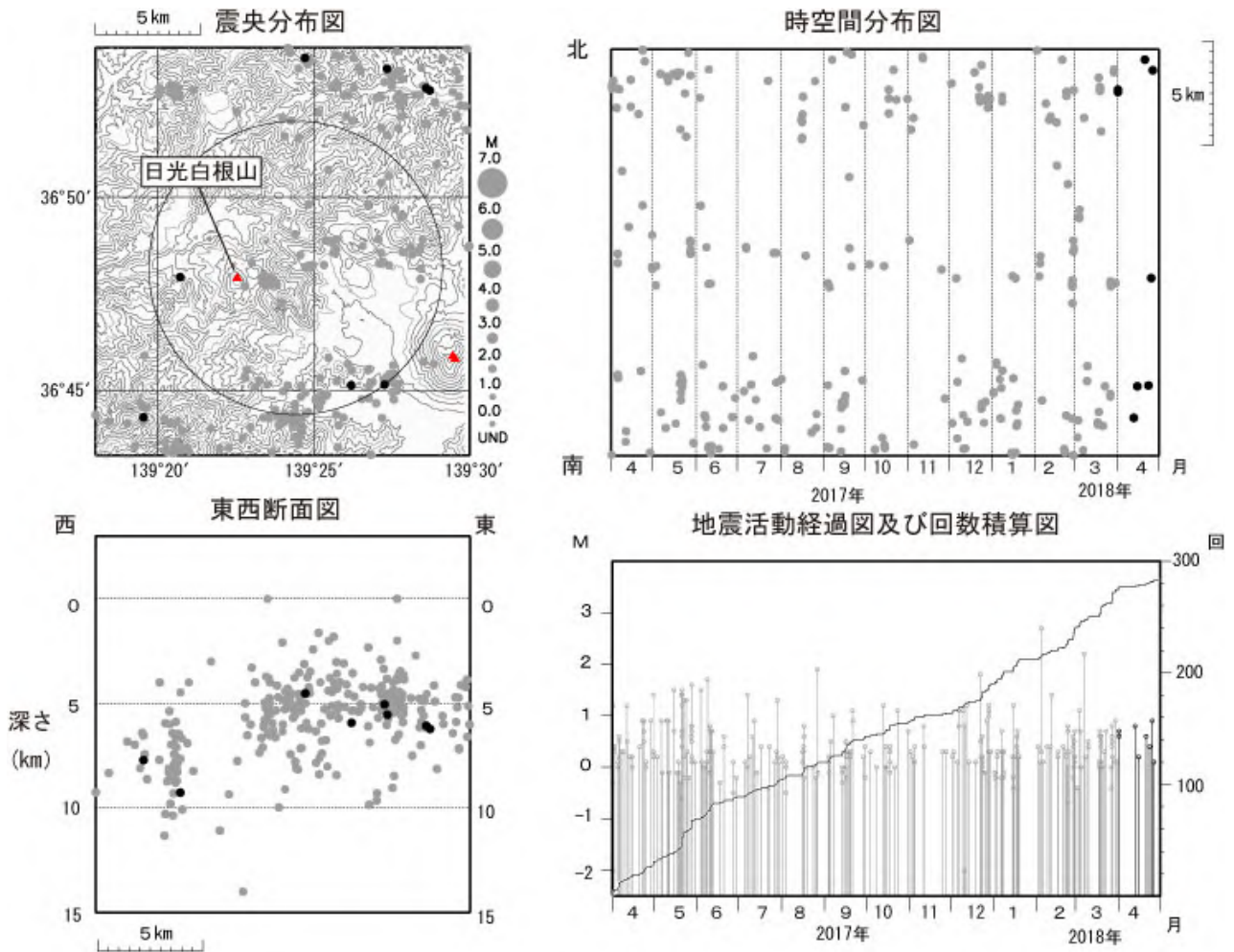
～ GNSS連続観測による基線長変化(国): 国土地理院

五色沢観測点の運用開始日: 2010年11月20日

グラフの空白部分は欠測を示しています。～ は図4の～の基線に対応しています。

『平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震』及び2013年2月25日に発生した栃木県北部の地震(M<sup>2</sup>)6.3の影響により、ステップ状の変化がみられます。

2) M(マグニチュード)は地震の規模を表します。

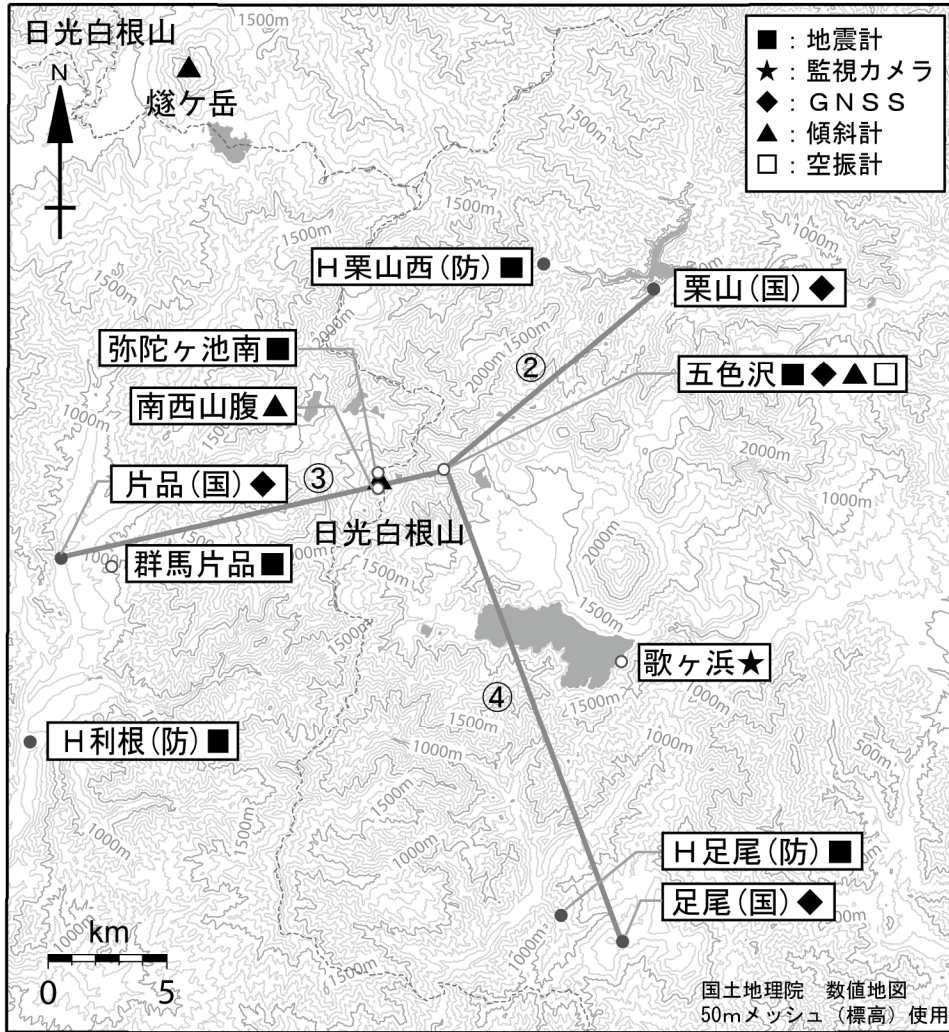


: 2017年4月1日～2018年3月31日      : 2018年4月1日～4月30日

図3 日光白根山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動  
(2017年4月1日～2018年4月30日)

震央分布図中の円は図2 - の計数対象地震(五色沢でS-P時間1秒以内)のおよその範囲を示しています。震源の深さは全て海面以下として決定しています。図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

- ・日光白根山付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所

図4 日光白根山 観測点配置  
 GNSS基線 ~ は図2の ~ に対応しています。